

偕楽園公園を愛する 市民の会が発足しました



設立総会のようす

第四観梅デーの三月十九日、午後一時半から茨城県歴史館で設立総会が行われました。当日はこの日を待っていたかのように偕楽園の梅が一斉に開花し、今年一番の来園者があつた好日となりました。

会員・顧問約百二十名の参加があり、赤城徳彦氏、狩野安氏、岡田広氏、地元選出国會議員、橋本県知事（代理）、加藤浩一水戸市長（代理）、加藤啓進水戸商工会議所会頭ほか多数の来賓を仰ぎました。

総会では、和田祐之介発起人代表が設立の経過を述べる挨拶、来賓の祝辞があり、ついで規約、役員、予算と活動計画について審議。すべて原案通り承認されました。

その後、本会の推進役であつた宮嶋敬夫水戸市緑化推進会議委員長により「三名園？三公園の『謎』」と題して記念講演が行われ、盛会のうちに終了しました。

和田会長挨拶

偕楽園公園は先祖から受け継いだ貴重な文化的遺産であり、後世にその素晴らしさを伝えると共に、新しい魅力を創出するという当会の設立総会が盛大に開催できまして有難うございました。その後入会の申し込みもあり、現在三百四十名になっております。喜ぶと同時に皆様の期待の大きさを実感しております。



偕楽園公園は県が中心になつて整備をしていただいています。我々はそれを利用者・市民の立場からさらにバックアップせねばならないと思っております。

今年度の事業計画は四ページのとおりでありますが、今後の事業につきまして、いくつかアイデアが出されています。全国の梅を収集し育成圃場を整備し、

入会のご案内

- ◆本会の行事に参加できます。会紙をうけとれます。
 - ◆随時入会を受け付けます。
申し込みは事務所あるいは知里合いの役員まで。
 - ◆会費は年1千円
- 事務所：水戸市末広町2-2-10
祐月本店 内 310-0053
tel:029-222-1117
fax:029-222-1116

文字通り全国一梅の種類の多い名園にしてはどうか、県のシンボルである好文亭は通年ライトアップするとよい、バリアフリーをもっと進めねばならない、偕楽園の管理レベルの統一と向上が必要である、などなど。

会員の皆様からのご意見をいただければ実現に取り組みたいと思います。

三名園で偕楽園と縁の深い金沢兼六園、岡山後楽園、水戸藩の上屋敷跡の小石川後楽園、水戸と姉妹都市の高松市の栗林公園は以前から市民組織ができており、十月には大名庭園民間連絡協議会が発足することになっており、当会も参加いたします。

このことを見ても、市民が如何に貴重な文化遺産を後世に伝えていくのか、どのように関わっていくのか、が問われているものと強く感じておるところです。どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

記念講演

三名園？三公園の『謎』

水戸市緑化推進会議委員長

宮嶋敬夫氏

偕楽園は日本三公園の一つなのか、それとも三名園なのでしょうか。そしてそれはいつ誰がどうして決めたのでしょうか。それは今から十四年前、新聞の連載に当たり抱いた疑問でした。しかし、どこに問い合わせても分からないし、各種百科辞典にも三公園、三名園では掲載されていないのに驚きました。

ゆるぎない定説の理由

つまりは明確な出典・根拠がないという事です、にもかかわらず日本三大稲荷や三大民謡等と違って、日本全国津々浦々まで日本三公園・三名園が、偕楽園・岡山後楽園・兼六園を指すことに、いささかの揺らぎもありません。それは明治三十七年の尋常小学読本七で、地方で名高い公園としてこの三つの公園があげられ、明治四十三年の高等小学校教科書巻一で、「我が国ニテ風致ノ美ヲ以テ世ニ聞エタルハ、水戸ノ偕楽園、金澤ノ兼六園、岡山ノ後楽園ニシテ、之ヲ日本ノ三公園ト稱ス。然レドモ高松ノ栗林公園ハ木石ノ雅

趣却ツテ此ノ三公園ニ優レリ。」と紹介されていたのが決定的な理由と思われる。一方、通俗的なものですが、明治三十四年の『明治の茨城』には「三名園」と紹介されているので、三名園とも云われていたと思います。



いつ？

三公園は当然公園の制度が出来てからですが、常磐公園は明治六年太政官布達により誕生した全国二十一の最初の公園の一つで、兼六園は明治七年、岡山後楽園は明治十七年に指定を受けています。そして全国の公園を知るためには鉄道の開通が重要な要素になりますが、水戸には明治二十二年水戸線が開通（こ

の年常磐村等の一部を合併して日本最初の四十市の一つとして水戸市が誕生、常磐公園も市内に含まれる事になりました）、岡山には明治二十四年、金沢には同三十一年に開通しているのがヒントになるでしょう。

誰が？

国定教科書によって定着した三公園ですが、勝手に決めるわけはなく誰が首唱したのか、新聞だという説もありますが依然として謎に包まれています。

どうして？

かつて大名庭園は將軍のお成りが格式を決めました、明治天皇の行幸が新たな格付けになったとの説があります。明治十一年の兼六園行幸、同十八年の岡山後楽園への行幸、同二十三年の偕楽園への皇后行啓が東京の新聞に書きたてられ、三公園の契機になったのではと、平成十三年発行の『兼六園の時代』で説いています。確かに栗林公園への明治天皇の行幸はなかった様です、宇高連絡航路の開通も明治四十三年の事でした。

このことを大正四年の『明治庭園史』で最初に取り上げた庭

園史家小沢圭次郎は三公園は根拠のない妄説俗説としており、特に偕楽園を酷評しています。

偕楽園の優れた特質

それは池泉廻遊式庭園のみを優れた大名庭園とする、狭く偏った視野が云わせたもので、千波湖・緑岡の雄大な借景と、多様な品種を集めた全国有数の梅林、そして『日本公園百年史』が激賞する、公園の魁と云うべき齊昭の卓越した築庭の理念こそ、偕楽園の誇りなのです。

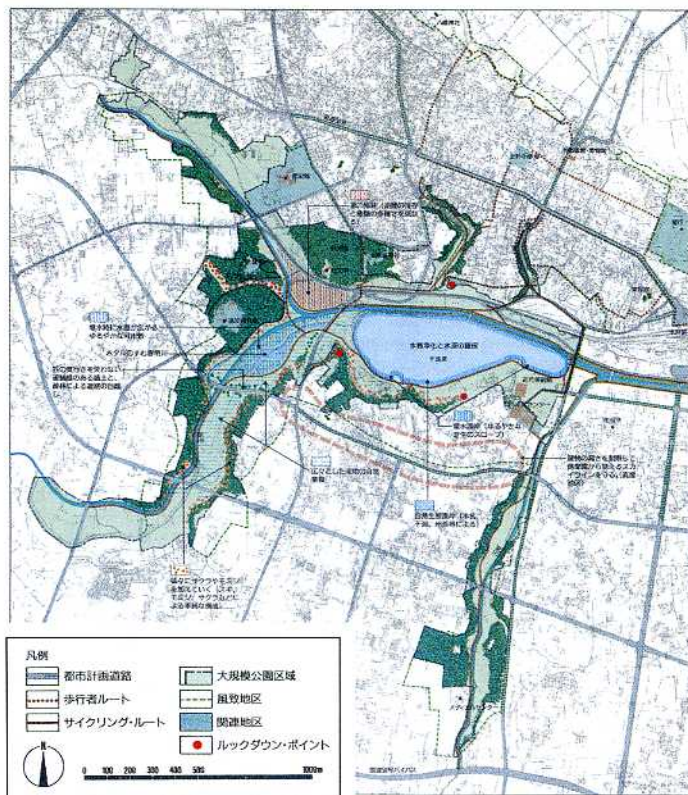
当日講演のさ中に借景じゃない、縮景だと発言された人がいました。縮景とは内外の名所や景勝地を園内に縮小して景色を作ることで、偕楽園にそのような景は全くありません。造園学の教科書に書いてあるとの事ですが、千波湖の歴史を知らぬ著者が、偕楽園下に見える柳の堤（昭和三十年代に北朝鮮帰国者が記念植樹したもの）を、頼房・光圀が築堤・植樹した柳堤と勘違いしたものと思われます。中国・杭州の西湖にある蘇堤の縮景として、池に堤を作る例は広島島の縮景園や小石川後楽園等、各地に見られるからです。

（本会発起人・顧問）

愛する会への期待

会の成立にあたり寄せられた期待の声を特集しました

偕楽園大規模公園計画



偕楽園公園の発展を願う

茨城県知事 橋本 昌氏

「偕楽園公園を愛する市民の会」が、和田会長さんをはじめ関係者の皆様方のご尽力により設立されましたことを、心からお慶び申し上げます。

偕楽園は、徳川斉昭公が開園されて以来、県民の皆様はもとより、梅まつりなどの季節を中心に、国内外から多くの人が訪れる、本県を代表する観光拠点のひとつとなっています。

県では、この偕楽園や千波湖

を中心に、周辺の緑地などを取り込んだ約三百ヘクタールに及ぶ大規模公園構想を策定し、史跡名勝である偕楽園本園の保全を図るとともに、景観に配慮した斜面緑地や梅林、水辺空間、多くの方々に快適にご利用いただくための遊歩道やあずまやなどの整備を進めているところです。

少子・高齢化の急速な進行や地域間競争の激化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきており、このたび策定した新茨城県総合計画「元氣いばらき戦略プラン」においては、発

展基盤の整備に取り組みながら地域資源を最大限に活用していくこと、そして県民の皆様が主役となっていばらきを共に創っていくことを基本姿勢に、安心・安全で快適な「住みよいいばらきづくり」を目標のひとつに掲げています。

緑豊かなうるおいのある生活空間を形成する都市公園につきましては、引き続き整備を進めるとともに、地域の住民団体等の皆様と協働して利用促進を図っていくこととしており、この度の「市民の会」の設立は誠に心強い限りであります。

多くの方々の参加を得て、活動の輪が広がっていくことをご期待申し上げます。

愛する会の発足を祝う

小石川後楽園庭園保存会

理事長 末 正明氏

偕楽園公園をこよなく愛されてきた、すべての県民の願いを代表する市民の会の設立、おめでとうございます。私どもの会は同じ水戸様ゆかりの江戸上屋敷跡に、唯一残され既に三百七十年の歴史を持つ、水戸徳川家初代頼房・二代光圀ご両公作庭の、小石川後楽園を守りより良

い姿で後世に伝えたいとの強い願いから、今から九年前に同志を募り結成しました。

この間、江戸開府四百年を記念する当園の梅まつりに、偕楽園の梅の里帰り植樹祭、水戸の梅大使の派遣、水戸の名所や催し物、物産の紹介等を行い、年毎に両園の交流の輪が広がっていくことは、大変喜ばしい限りです。また、昨年萩まつりの最中に、私たちは偕楽園等に初の表敬訪問を行い、加藤市長様の暖かいお出迎えを頂き、園内の石州流の野立てに参加させて頂く等、百聞一見に如かずの諺通り、まちを挙げての催し物の取組み振りに深い感銘を受けました。

今秋金沢でお会い出来るのを楽しみにしています。貴会の御発展を心より祈念しています。

設立の経過

平成十七年十一月五日 発起人会
趣旨に賛同、発起人の拡充を決定
平成十七年十二月十日 発起人会
会則・入会案内等検討
平成十八年 二月二十日 発起人会
会則・役員・予算等の原案決定
平成十八年 三月十九日 設立総会
百二十名出席 会則・予算・役員決定

今年度の行事

個別のご案内は致しません。お問い合わせと、参加希望については葉書あるいはファックスで連絡担当者までご連絡ください。当日参加も可。

偕楽園の歴史と自然を巡る

歴史アドバイザーと茨城生物の会の専門家の話を聞きながら散策し、自然や歴史を観察します

・七月二十三日(日)

・護国神社下駐車場・梅桜橋付近

九時集合

・九時三十分出発・十二時解散

・小雨決行・悪天候のときは中止

・連絡担当：千葉初雄

〒310-0851 水戸市千波町二八〇四二八

Fax 〇二九二二五二二八〇九

旬を楽しむ偕楽園ウォーク

春の梅だけではなく偕楽園の旬をいただく企画です。萩や鈴虫に秋の足音を感じましょう。約4kmですのでご家族でどうぞ。

・九月十七日(日) 家庭の日

・歴史館正門前九時集合

・九時三十分出発・十二時解散

・小雨決行・悪天候のときは中止

・連絡担当：川上清

〒311-4143 水戸市大塚町九九三七

Fax 〇二九二二五二二四六

大名庭園民間交流協議会参加

偕楽園・小石川後楽園・金沢兼六園・岡山後楽園・高松栗林公園など旧大名ゆかりの庭園の市民団体の交流協議会が発足します。会からも参加します。

・十月二十六日・二十七日

・金沢兼六園

・連絡担当：事務所

偕楽園公園の未来を語る

偕楽園公園は大規模公園として整備されています。その計画・現状・見通しについて県や市の担当者から話をうかがい意見を交わします。

・十二月二日(土)

・時間 十三時三十分

・場所 水戸市公園協会

【予告】来年度総会

来年度総会を開催します。偕楽園公園の歴史についての講演(大槻副会長)を計画。

・平成十九年四月七日(土) 予定

・会場 未定

こんな夢も

偕楽園を日本一の梅園に!

水戸はかつて日本一の花梅苗の産地で、三百種もの品種が母樹として保存されていました。

偕楽園を日本一の梅園にするために、苗畑を作って多様な品種を集め、苗を育てるよう県に働きかけ、

私たちの会も皆でそのお手伝いをしたいと思っています。

好文亭年ライトアップ

偕楽園の夜景を飾るのもいいですね。経費と管理が問題かもしれませんが、遠くから見ても映えると思います。

ウォーキングコースなど

偕楽園公園に都市型オリエンテeringのパーマネントコースを設定する計画が始まっています。一般向けの周回コースの案内掲示・紹介などもあつていいですね。偕楽園の楽しみ方が増えることになります。

皆様の夢をお寄せ下さい



役員名簿

会長 和田 祐之介
副会長 小菅 次男
同 湊 正雄

理事 大槻 功
同 安齋 みつ

同 伊藤 茂

同 川上 清

同 鈴木 重文

同 高島 繁正

同 高柳 美智子

同 千葉 初雄

同 仲田 光子

同 浅川 きよ

同 根岸 孝雄

同 石島 弘之

同 木村 義明

同 加藤 啓進

同 友末 忠徳

同 中山 義雄

同 西野 虎之介

同 宮嶋 敬夫

同 橋本 昌

同 加藤 浩一

同 赤城 徳彦

同 狩野 安

同 岡田 広

編集後記

めでたく市民の会が設立されました。発会に奮闘された和田会長は関係者に感謝します。会誌を発行するに当たり、偕楽園にちなんで「偕に楽しむ」と題することになりました。「民とともに楽しむ」という烈公の意思でつけられた名称ですが、みんなで一緒に楽しむという趣旨で理解したいと思っています。玉稿・写真をお寄せくださった皆様に感謝します。(編集担当つき)